

しろがねっと 10号

平成27年 1月 21日 発行



群馬県立渡良瀬養護学校しろがね分校
特別支援教育広報

【特別支援学校のセンター的機能】

～しろがね分校による地域支援～

しろがね分校では専門アドバイザーが中心となり、前橋市・玉村町・渋川市・吉岡町・榛東村の小学校・中学校・幼稚園・保育園を訪問したり、保護者に来校していただき、発達の気になる子供達についての継続的な支援を行っています。

1月20日現在の相談依頼の件数(外部支援)

対象	幼稚園 保育園	小学校	中学校	特別支援 学校	その他	計
件数	163件	186件	74件	11件	18件	452件

(その他は来校相談や電話相談)

専門アドバイザーの仕事をご紹介します。



教室に気になる子供がいると、どうしても教師はその子を何とかしようと考えます。気が散る子には窓側や廊下側を避けた席にしたり、乱暴な言葉を使う子には優しく丁寧な言葉を使うような言葉かけをしたりします。

しかし、いろいろな支援をしても改善が見られない場合に担任の先生は一人で悩んでしまう場合が見られます。

ここでちょっと考えてみてください。

対象のお子さんは他のお子さんに比べて、気が散ってしまったり、

些細なことで怒ってしまったりする特性があります。うるさい環境
の中では、どんなに注意をされてもなかなか集中できないし、友達
同士を非難し合っているクラスの中では我慢できなくて暴言を吐いた
り、手が出てしまったりするのはある意味当然のことかもしれません。

初めにしなくてはいけないことは、周りの環境を整えることです。
同じお子さんでもうるさくて担任の話が聞きづらい教室より、静かな
教室では集中力や注意力が違います。皆が一生懸命課題を解いてい
れば普段おしゃべりをする子でも静かになります。「ありがとう」がよ
く飛び交う教室では、対象のお子さんも「ありがとう」を普通に使っ
ていました。

対象児に対して支援して効果が出るのは、周りの環境が整った時です。

ご家庭でも、お子さんがご飯を食べないと相談にきた保護者で、食事
中にテレビを付けたままでいたり、ご飯前にお菓子を食べさせてしまっ
てお子さんのお腹がきつかったりすることがありました。

まわりの環境をもう一度見直すのも良いかもしれませんね。



冬休みも終わり、いよいよ3学期が始まりました。
1年のまとめの時期ですね。健康に気をつけて、
いろいろなことに挑戦して欲しいですね。
今後とも、学校教育にご理解とご協力をよろしく
お願いします。

わたらせようごがっこう ぶんこう
渡瀬養護学校しろがね分校

せんもん
専門アドバイザー

でんわ
電話 027-268-6111